

日本歴史言語学会 第二回大会 開催のご案内

秋涼の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨冬誕生した日本歴史言語学会の第二回大会が下記の要領で開催される運びとなりました。設立の趣意にご賛同くださり、ご支援、ご協力を賜りました皆様に、この場をお借りしまして篤く御礼申し上げます。つきましては次葉以下のプログラムをご高覧のうえ、よろしくご来場ください。

記

時	2012年12月8日(土)～9日(日)
於	千葉大学西千葉キャンパス 総合校舎
後援	千葉大学大学院人文社会科学研究科、文学部、 文学部・法経学部後援会
大会実施委員	石井正人、田口善久(千葉大学)
参加費	会員 無料 非会員 2000円(一般)、1000円(学生)

また、大会当日には学会誌『歴史言語学』が創刊されます。低額の会費を維持しつつ冊子刊行を実現するため、やむなく有償(頒価2000円程度の予定)となりますこと、何卒ご海容ください

日本歴史言語学会 会長 後藤敏文
大会委員長 町田 健
事務局長 神山孝夫

日本歴史言語学会 設立の趣意

近年において日本国内における歴史言語学の認知度と言語学に占めるその比重は低下の一途を辿り、その裾野は狭まる一方であります。今こそ、既存の学会や研究機関の枠、扱う言語の枠、文献研究、比較研究等の方法論の枠を超え、さらには歴史学、考古学、神話学、宗教学、文化人類学等とも連携を図りつつ、わが国における歴史言語学と隣接諸分野の振興と普及、ならびに研究者相互の交流と切磋琢磨を行う母体の構築が必要だと言えましょう。ここに日本歴史言語学会(Japan Society for Historical Linguistics)の設立を發起する所以であります。

該当分野の専門研究者のみならず、同分野を志望する大学院生、また同分野に関心をお持ちのあらゆる方々に、設立の趣旨にご賛同いただき、ご入会とご協力をいただきますよう切にお願いする次第であります。

(「日本歴史言語学会 設立のお知らせ」より抜粋)

日本歴史言語学会第二回大会

プログラム

第一日 12月8日(土)

12:00	受付開始	総合校舎D号館エントランス
12:45~13:00	開会式 開会の辞	総合校舎C号館11番講義室 日本歴史言語学会会長 後藤敏文(東北大学名誉教授)
13:00~17:30	研究発表会	総合校舎C号館11番講義室

	発表者	司会者
13:00	大西耕二(新潟大学)	町田 健(名古屋大学)
↓	アメリカ先住民諸語の南島語族諸分岐からの多回起源と人類移動史の再構築へ向けて	
13:30		
13:40	永田良茂	松村一登(東京大学)
↓	日本語の起源、その解明方法例	
14:10		
14:20	渡部正路	松村一登(東京大学)
↓	中国語の語生成 — 藤堂明保の単語家族論の再検討 —	
14:50		
15:00	菅野開史朗(ラトビア大学)	井上幸和(神戸市外国語大学)
↓	エンゼリーンスのバルト語研究	
15:30		
15:40	田中俊也(九州大学)	神山孝夫(大阪大学)
↓	ゲルマン語強変化動詞V類過去複数形に散発的に見られる 語根末摩擦音の有声化について — *wes- 'be, stay, dwell' の事例を中心に —	
16:10		
16:20	豊田純一(University of Belgrade)	神山孝夫(大阪大学)
↓	Impacts of contacts on alignment change in IE languages	
16:50		
17:00	島映子(昭和女子大学大学院)	岡島昭浩(大阪大学)
↓	共同注意の観点から見た『万葉集』のゾ・コソ	
17:30		

18:00~20:00 懇親会 第一食堂

懇親会のご案内は本プログラム最終頁にあります。同所をご覧のうえ、ふるってご参加ください。

第二日 12月9日(日)

11:00~12:00 ポスター発表 総合校舎D号館21番講義室

大西耕二 (新潟大学)	印欧祖語の語頭子音体系および最頻用 50 印欧祖語語根 (下宮) のオセアニア語群 (南島語族) 由来性
矢花利勝	日本語古方言とシュチップ (Shqipe) 語の関係について — サンカ言葉の事例 —
渡部正路	日本語生成のアニメーション表現

12:00~13:00 休憩 (昼食の便については本ページ下端をご覧ください)

13:00~13:30 総会 総合校舎B号館

13:45~16:10 講演会 総合校舎B号館

開催校あいさつ 山田 賢
(千葉大学文学部長、
文学部・法経学部後援会顧問)
中川 裕
(千葉大学大学院人文社会科学研究科長)

14:00~15:00 講演1 千種 眞一 (東北大学)

「再建と類型論 — 印欧祖語をめぐって —」

15:10~16:10 講演2 Stephen Laker (九州大学)

“British Celtic Influence on English Phonology”

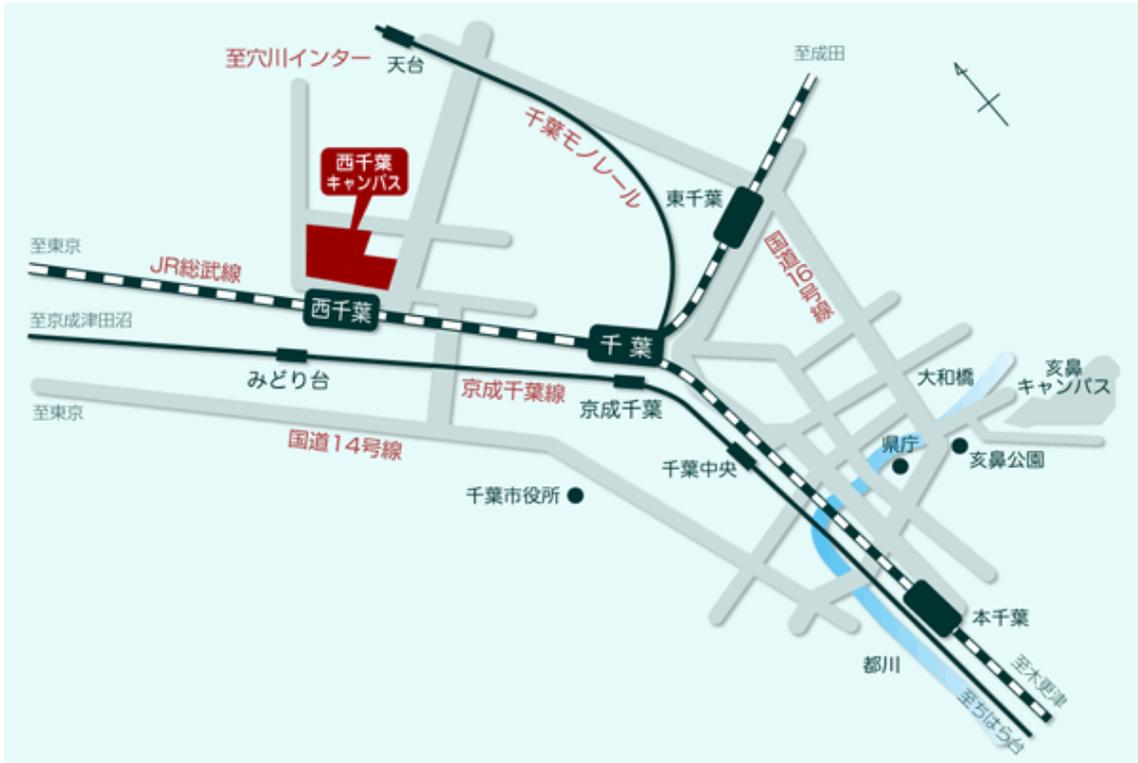
16:10 閉会式 総合校舎B号館

閉会の辞 日本歴史言語学会副会長
千種 眞一 (東北大学)

昼食の便について

西千葉キャンパス周辺には飲食店、弁当屋、コンビニ等がふんだんにありますが、週末に休業する店舗も多いため、12月8日、9日(日)とも、**昼食弁当**(1000円の予定)を手配いたします。ご希望の場合には、本プログラム最終頁に記載した要領に従い、事前にお申し込みください。

千葉大学 西千葉キャンパスへのアクセス



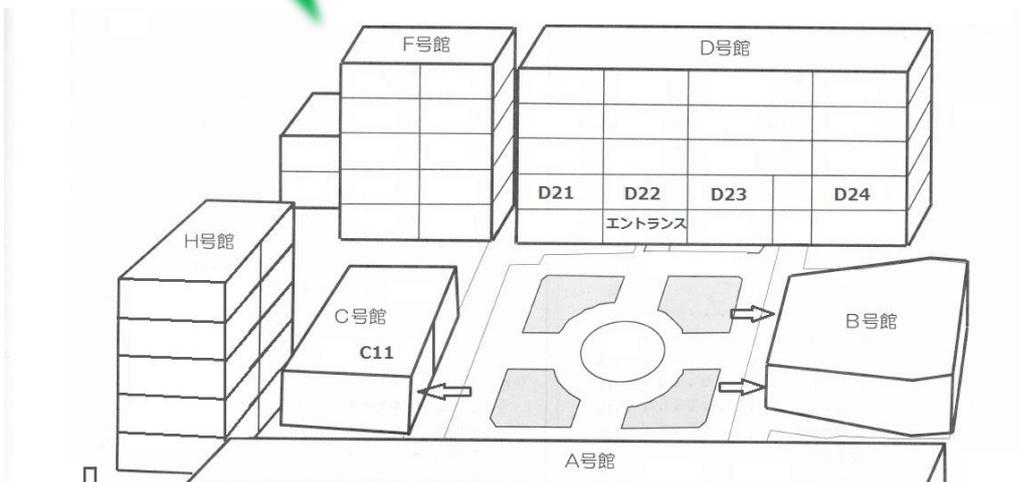
JR 東京	35分 8 駅 総武線(快速)	JR 西千葉
JR 稲毛	3分 1 駅 総武線(各駅停車)	JR 西千葉
京成上野	35分 6 駅 京成線特急	京成津田沼
京成津田沼	11分 5 駅 京成千葉線	京成みどり台
羽田空港	16分 1 駅 京浜急行線エアポート快特	JR 品川
JR 品川	45分 10 駅 総武線(快速)	JR 稲毛
JR 稲毛	3分 1 駅 総武線(各駅停車)	JR 西千葉
羽田空港	17分 1 駅 東京モノレール空港快速	JR 浜松町
JR 浜松町	6分 3 駅 山手線	JR 東京
JR 東京	35分 8 駅 総武線(快速)	JR 稲毛
JR 稲毛	3分 1 駅 総武線(各駅停車)	JR 西千葉
成田空港	42分 8 駅 総武線(快速)	JR 千葉
JR 千葉	3分 1 駅 総武線(各駅停車)	JR 西千葉

JR 西千葉駅より西千葉キャンパス南門まで徒歩約 2 分
 京成みどり台駅より西千葉キャンパス正門まで徒歩約 7 分
 千葉都市モノレール天台駅より北門まで徒歩約 10 分

西千葉駅から会場へのアクセス



総合校舎配置図



懇親会のご案内

12月8日(土)18:00~20:00、**第一食堂**にて懇親会が開催されます。懇親会費は会員・非会員にかかわらず一般6000円、学生3000円を予定しています。同学の方々の輪を広げ、親睦を深めるべく、ふるってご参加ください。

準備の都合上、**11月末まで**にお申し込みいただくようお願いいたします。

お弁当の注文

12月8日(土)、9日(日)ともに昼食用弁当(1000円の予定)を手配いたします。ご希望の場合は上と同じく**11月末まで**にお申し込みください。

懇親会・お弁当の申込先 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部 石井正人 ishii@L.chiba-u.ac.jp (@は半角に)
--

手話通訳について

手話通訳を必要とする方は、準備の都合上、お早めに会場担当までお知らせください。

入会と会費納入

本会では会費を可能な限り低額に抑える方針を採り、専門の研究者、その志望者のみならず、言語の歴史的研究にかかわるあらゆる方の入会・参画を歓迎しています。

入会には以下2点が必要です。

1. 入会申込書の提出

大会受付でも記入・提出できますが、受付の混乱と転記ミス防止のため、メール添付での事前提出をお勧めします。入会申込書は学会ホームページ内にあります。

2. 年会費の納入(現会員の方もご高配ください)

年会費は大会受付でも納入できますが、なるべく郵便振替口座をご利用ください。

郵便局備え付けの払込用紙を利用し、通信欄にはおところ、お名前、払込金の用途(例えば「普通会員2012年会費」とメールアドレス(if any)を記載してください。

郵便局(ゆうちょ銀行)以外の一般銀行やネットバンクからも納入できます。

普通会員	4000円(下記以外の会員)
学生会員	2000円(学生である会員)
シニア会員	2000円(定年退職後定職を持たない会員)
賛助会員	10000円(一口)(趣旨に賛同する法人)

郵便局から	他行から
郵便振替口座 00980-7-217339 日本歴史言語学会事務局	ゆうちょ銀行〇九九店 当座預金 0217339 日本歴史言語学会事務局

お問い合わせ

会場について: 大会実施委員長 石井正人 ishii@L.chiba-u.ac.jp
大会について: 大会委員長 町田 健 kmachida@lit.nagoya-u.ac.jp
その他: 事務局 神山孝夫 info@jp-histling.com
@を半角に変えてご利用ください。

日本歴史言語学会 会長 後藤敏文 http://www.jp-histling.com/
--